

なばりの

きらきら ウーマン

なばりの

きらきら ウーマン

和らしく、
自分らしく

男らしく、女らしくではなく

自分らしく輝く5人へのインタビュー

なばりの きらきらウーマン。

男女それぞれが性別にかかわらず、個性や能力を生かして
さまざまな分野で活躍できる社会を、
男女共同参画社会といいます。
「男だから」「女だから」などの男女の役割分担に縛られず、
仕事、家庭、地域活動など「自分らしく」生きることで
ひとりひとりの豊かな生活につながります。

私たちは、この名張・伊賀地域の様々な分野で活躍し、
仕事もプライベートも自分らしく、いきいきと輝く女性たちを
「なばりのきらきらウーマン」として、1年間取材をしてきました。
結婚や出産の可能性がある女性は、その生き方や働き方も
さまざまであり、活躍、社会参画の方法も多様です。
そんな中で、地道に、確実に、時に大胆な発想や行動で、
自分らしい人生を歩んできた女性たち。
そんな女性たちの想いをこの冊子にまとめました。
「自分らしく」いきいきと輝く女性たちの想いを発信することで、
男女の役割分担に縛られず、自分が選んだより豊かな人生を
実現するためのきっかけになってほしいと思います。



Haruna Okuda
P04~



Fuko Kitajima
P06~



Yuka Fukuyama
P08~



Yukiko Sugioka
P10~



Itsumi Sato
P12~



奥田 春菜さん

名張近鉄ガス株式会社
地域CS部 CSチーム勤務

profile

1987年大阪生まれ名張育ち。5歳の時に名張市へ移住。応急手当指導員・防災士・赤十字救急法救急員の資格を取得。小学6年生の男の子と1歳の女の子を持つ2児の母。

名張近鉄ガス

「我が子を守りたい」
防災・救命への情熱

お仕事のことを教えてください。

名張近鉄ガス株式会社に勤めて12年目になります。営業や経理を経て、今は地域CS部に所属しています。料理教室や環境教室、防災教室など生活に役立つ教室の企画・実施を担当していて、皆様が楽しめる教室になることを一番考えて企画しています。環境教室ではリサイクルのお話のほかに、ガスの配管に使うPE管というものを再利用したワークショップをしています。プレスレットやミサンガ、万華鏡が作れ、小学生やご年配の方にも喜んでいただいていますね。

防災教室に関しては、私が消防団に所属していることもあって、4年ほど前から名張近鉄ガスでも取り組んでいます。消防団で学んだ知識も活かし、先生として皆様の前に立たせていただいています。

お仕事でのやりがいを感じることは何ですか？

お客様との距離が近い仕事なので、近所で買い物しているときや催事などで、教室に参加いただいた方から声をかけてもらうことがあります。各教室を通じて地域の方と交流でき、会社のことや取り組みを覚えていただけていることがとても嬉しいですね。

消防団に所属していると伺いましたが、入団しようと思ったきっかけは？

実は、子どもが6歳の時、高熱を出した時に幻覚を見たようで、ひどく暴れたことがあったんです。思いがけないことに私はどうしているのか分からず、暴れる子どもをなだめるのに必死でした。この一件で「いざという時、子

どもを守れるのは自分しかない」と感じて、救命のことを学びたいと思い、消防団に入団しました。

消防団ではどんな活動をされていますか？

防災訓練や火災予防啓発への参加、防災に関するイベントや訓練なども行っています。力のいる仕事ではやはり男性団員を頼ることも多いです。女性としてサポートできることや後方支援を担っています。私は防災や救命について学びたかったので、講習に参加して、防災士の資格、救命講習の指導員の資格も取得しました。防災、救命を学んだことは仕事にも活かされているし、市内の育児サークルにお邪魔して、幼い子どもに対する救命講習をさせてもらったこともあります。自分と同じように、子どもを守らない！と感じているお母さん方に少しでも知識と勇気を与えられたらと思っています。

「自分らしい」奥田さんとはどんな女性ですか？

性格は「テキトー」だと思います(笑)。あまり考え込みすぎないというか、適度に受け流すというか。あとは、目の前にあるチャンスには飛び込まないともったいない！と思ってしまう。消防団で救命や防災のことを学んだこともそうですが、他にも名張学の講座を受けたり、市内の観光ボランティアに申し込んだりしたこともあります。仕事、ボランティア、家庭と忙しいですが、仕事の自分、妻、母親など、いろいろな私を使い分けるのが楽しいですね！

💎 見つけた「彼女らしさ」

仕事、消防団、プライベート、様々な顔を持っている奥田さん。それぞれの活動や役割は違っても、共通しているのは地域との関りを大切にすること。そこからは郷土愛と家族を大切にする思いが伝わってきました。何事にも好奇心旺盛に取り組む姿から、奥田さんの「自分らしさ」をうかがうことができました。



奥田さんが大切にしていることや夢を教えてください。

大切にしていることは地域との関り。私、名張がとても好きなんです！仕事でももちろんそうですが、消防団や地域の行事にも積極的に参加しています。夫も仕事をしながら消防団や獅子舞にも携わっていて、故郷の伝統を重んじています。自分の家族が暮らす地域を大切にして、その中で何か役目を担うことは、私にとってとても重要なことの1つ。夫や私の様子を見ている子ども達には、地元愛を持って育ててほしいです。息子が「将来自分も獅子舞を演じる！」と言ってくれているので、楽しみにしています！

都会でも田舎でもない
名張が大好き！
地域のみなさんとの
つながりが大切にしたいです。

北島 芙有子 さん
とまとの丘

profile

1993年大阪で生まれ育つ。自然や生き物が好きで、大学ではバイオサイエンスを専攻。学生時代のアルバイトをきっかけに農業の道へ。祖父母のいる名張に移住し、農作業に動しむ日々を送っている。



自然が好き! トマトが好き!
その先にあった自分の道

お仕事のことを教えてください。

3年前に農家として独立し、短野にあるビニールハウスで大玉トマトを生産しています。「ふうこのとまと」という名前地元でスーパーなどで販売しています。2年前からは冬の間、野菜の露地栽培を色々として試行錯誤しながら挑戦しています。

農業の道に進んだきっかけは?

大学生の時にいったトマト農園でのアルバイトがきっかけです。小さい頃から植物とか昆虫とか、生き物が好きで。よく父に虫取りに連れて行ってもらってましたね。生物の授業が好きだったので、大学ではバイオサイエンスを専攻しました。自然に触れながら学びたいという気持ちがあったのですが、実際は授業

では実験や計算が多くて…やりたいことと実際の生活に差を感じていた時に会ったアルバイトだったんです。自然の中でできる農業の楽しさを知って、生業にしたいと思うようになりました。

農業のどんなところに魅力を感じたのですか?

自分の作ったものを食べてもらって、美味しいって言ってもらえることって、本当に幸せなことやなあって感じたんです。小さい頃からトマトが好きなのですが、アルバイト先のトマトが本当に美味しくって!こんなトマト作りたくなって。

20代前半で就農、独立を決めた時、不安はなかったですか?

どこかに所属するという選択肢もあったのですが、自分でやってみたいという思いが強かったです。後先考えずに「やってみたいからやる!」という感じでした。不安とかはあまりなかったですね。基本的に楽観的な性格なので。悩んだりするけど、寝たら忘れやす(笑)汚れても気にならなかったりと、おおざっぱなところがあるので農業をやっていけるのかなあと思ったりします。

独立して3年経った今、始めた頃に比べて変わったことは?

1年目は同じ時期にたくさん作りすぎて、出荷のピークが重なってしまいました。なので、翌年から収穫のピークを後にずらして生産するように工夫しました。短野は夜が涼しいということもあって、12月頃まで収穫できるように調整しています。「来年はこうしよう!」と年々試行錯誤しながらやっています。

これまでで、一番辛かったことは何ですか?

やっぱり1年目かな。そもそも売り先が確保できていなかったのにたくさん作りすぎてしまったので、収穫や手入れが追いつかず、トマトが熟しすぎて生で売れないものもできてしまいました。困っていたところに加工の話がでてきて、なんとか廃棄せずに済みました。色々な人の助けがあり、徐々に売り先も増え、今では栽培も出荷もスムーズにすることができるようになりました。

見つけた「彼女らしさ」

小さい頃から好きだった自然や生き物。大人になってもその思いはぶれることなく、自分の想いに忠実に歩み続け見つけたもの。それが農業でした。自然に囲まれた場所で、丹精込めてトマトを育てている彼女は、とても自然体で生き生きしています。好きなことにひたむきに歩み続ける、そんな芯の強さこそが北島さん「らしさ」だと感じました。



トマトの美味しい食べ方(レシピ)教えていただけますか?

どうでしょう…。いつも生でそのまま食べているので(笑)丸かじりが一番好きです!

今後、挑戦したいことや夢はありますか?

自分の手で加工品を作りたいです。なるべくロスの出ないように工夫して生産していますが、どうしても出荷できないものが出てきてしまうので。それらを使って、トマトだけで作ったピューレとかジュースをつくれたらいいなと思っています。今、好きなことを仕事にできているので、大切にしながら続けていきたいし、農業はこれからもずっと続けていきたいと思っています。海外にも興味があって、オーストラリアやニュージーランドの農場にも行ってみたいです!



福山 由佳さん

光輝建設株式会社
工事部 営業担当

profile

1988年生まれ。名張育ち。接客業、建築会社での営業・工程管理を経て土木の道へ。現場管理に日々奮闘しつつ、施工管理や建設機械の資格取得のために勉強中。小学4年生の男の子を持つ1児の母。



「緑の下の力持ち」な
土木業に惹かれて

お仕事のことを教えてください。

今年の3月から光輝建設で、主に土木工事の工程管理の補助をしています。工事の状況写真を撮ったり役所の方と現場立ち合いしたり工事書類をまとめたりしています。雨で現場が動かない時や空いている日は、現地調査に行ったり見積、契約、工事手配など、一般住宅の工事の対応を主にしています。新規の会社さんや一般のお客さんへの訪問営業もします。今はコロナで、気軽に行けませんが…。人手や運搬が必要な時は、ダンプにも乗ります。ダンプに乗りたくて今年AT限定解除したんですよ。ダンプに乗っているときが一番楽しくて、輝いていると思います(笑)

もともと建築や建設のお仕事を
目指していたのですか？

幼いころから目指すとかはなかったですね。ただ、父がトラックの運転手なので、重機やトラックは身近にあって幼いころから好きでした。父の運転する助手席に乗って仕事について行ったりもしていました。

土木の道に進んだきっかけは？

以前、建築の仕事をしていた時、大地の再生を行う団体の女性に出会ったのがきっかけです。土木では、雑草などの手入れは外構を掘ったり地面を均したり重機を使うんですけど、その人はあまり重機を使わずに、風の流れや日光の当たり方などを見て、草の生え方を変えるという手法を使っています。自然に寄り添うようなやり方もあるんだなって、土木に対するイメージが180度変わりましたね。

それに土木工事って「地固に残る仕事」じゃないですか。頑張ったことが必ず目に見えるので、やりがいがある仕事だと思いました。

土木業の魅力や、達成感を感じることは何ですか？

土木ってほんまに、土地開発の一番最初のとっかかりなんですよ。土木工事が終わって、基礎が出来上がって、やっとそこから家を建てたり公共施設を建てられる。誰も見ていないのに、一生懸命汗を流してやっているのが、緑の下の力持ちというか…。この人達がいないと建物が建たないわけで、それが健気で「きゅん」と、ときめいちゃいます(笑)

公共工事でも民間の工事でも、最後に「ありがとうございます、またお願いします」って言ってもらえた瞬間が、嬉しくて達成感があります。



大変だな、と感じることはありますか？

土木業界で働く女性も増えてきて、「頑張ってるね」って言ってくれる人も多いけど、まだまだ男性社会なので、仕事がうまくできなくても「女やから」って舐められることもあります。なので、体力面と精神面はタ

◆ 見つけた「彼女らしさ」◆

仕事以外のプライベートでも、スポーツやアウトドアなど、体を動かすようにしているという福山さん。そのタフさの源は、「やってみないと分からない」という好奇心と、現在に至るまでに経験した様々な困難から得た力がありました。そんな困難や逆境も自分のプラスへ変える力と、人に対する誠実な姿勢が福山さん「らしさ」だと感じました。

フじゃないと厳しいかもしれません。マイナスな事を人に言われたら気にするし、落ち込みますけど、何事もプラスに変えて成長していきたいです。

あとは私生活ではシングルマザーなので、怪我だけはしないように、それだけは気をつけています。働けなくなると生活できないので。

今後も大切にしたいものはありますか？

やっぱり「人と人」ですね。チャンスをくれるのも人やし、ひとりでは絶対何もできないと思います。自分がしんどい時に助けてくれたのも人やし、流れるような感じで今ここにいるけど、それも人との縁のおかげなので、そこを大事にしたいですね。よく「ひとり生きていけそうやな」って言われるんですけど、全然そんなことないです。ほんまに人に恵まれているなと思います。周りの人にも、家族にも。

今後の夢などあったら教えてください

地元の土木業界に女性が増えて、女性が土木工事に携わることが当たり前になったらいいなって。ダンプも乗れて、重機も乗れて、何でもできる女性のチームみたいなのがあったら、すごく面白いやろなと思うんですよ。なかなか難しいかもしれないですけど、「チーム建設小町」ができれば格好いいかなって(笑)

ダンプが趣味で
長年習っています。
最近息子と一緒に
7オレストアスレチックに
はまっています。



杉岡 雪子 さん

イーナバリ株式会社
代表取締役

profile

大阪生まれ名張育ち。高校卒業まで名張で過ごし、アメリカの大学へ進学。東京で就職。結婚、出産を経て名張へ帰郷。デザイン広告会社での企画営業などに携わる。3児の母。



農産物の加工所を立ち上げるきっかけは何ですか？

名張市が2014年に発足した、雇用創造協議会という外郭団体での活動がきっかけです。地元で作られたおいしい農作物が、傷や規格外ということで、消費者に届かず畑の肥やしになってしまうものも少なくないことを知りました。農業は作物の単価は安いけど手間も費用もかかるし、さらに相手は自然なので、天候が悪くて不作だったり、甘さが乗らなかったり、人間の力だけではどうにもならない事情がいっぱい隠されているんですね。農業者さんは農業で手いっぱい、例えばジャムやジュースなど食品の加工・販売に興味があっても、そこまで手が回せないのが現状です。だったら今の地域の実態に合わせて、少量でもいいから加工できる場所があると、ちょっとでも変わるのかな？という思いがうっすらあって。そこが今実現してる、って感じです。

加工・販売で農業を支え食卓に笑顔届けたい

お仕事のことを教えてください。

2017年に食品の加工所を立ち上げ、主に地元の農産物の加工製造と販売をしています。食品の一次加工や、例えばジャムやソース、レトルト食品など日持ちするものを作ることが軸になります。極力添加物を使わず違う方法で日持ちさせ、子どもにも安心して食べさせられるものを目指しています。農産物を変身させた加工品が、地域の宣伝や、ゆくゆくは農業活性化など、生産者の方々の力や収益に繋がればいいな、という思いでやっています。

なぜ代表をやると思ったのですか？

雇用創造協議会では3年間活動していましたが、2年目の終わり頃に加工所を始める準備会があって、「杉岡さんやらへんか？」と職員の方から声がかかったんです。すごく悩みました。自分は社長気質ではない、と思っていましたし、元々4姉妹の末っ子で、親や姉達の後ろからひょこっと顔を出すような子どもでしたから。でも、名張の農業の現実を知ってしまった以上、ほっとけません。小さいころを知っている近所の方からは「あんなピーピー泣いてて甘えたで、ほんまにわがままっ子のゆきちゃんがああ〜」とか言われます(笑)

やりがいを感じるのはどんな時ですか？

「おいしかったよ」など、実際の消費者の声を聞くと、嬉しくて泣きそうになります。その食卓に笑顔があってくれたら嬉しいな、と想像しています。あと、うちで作っている商品をきっかけに生産者さんに商談ができた話を聞くと、1つのきっかけがあるんな農産物にも影響を与えるし、宣伝にもなって広がっていくんだな、とすごく嬉しくなります。日々の作業は本当に大変で、しんどい時もありますけどね。だから、ちょっとの嬉しさがそれをもみ消してくれる、という感じです。

今後も大切にしたいことはありますか？

協力してくれる人たちや、ここで働いてくれる人たちがやっぱり大事ですね。みんなの体や健康面も心配です。日々の作業は本当に間違い葛藤もあるけど、楽しさや、嬉しさ、

やりがいを感じながら、和気あいあいとやっていくことが、結果的に地域の向上に結び付けられればいいな、とすごく思います。ビジネスを成り立たせることや利益も大事なんですけど、やはり継続できなければ成り立たないし、働く自分たちが健康で幸せじゃないと続けられませんし。普通に生きていることが最大のしあわせだと思っています。



目標や、今後の夢などあったら教えてください

継続することが加工所の目標です。加工所を立ち上げ、「やれて行けるよ」という実績も作りたいし、世の中根気と覚悟、ということを示せたらいいな。あとは世の中の食品に対する価値観を変えていきたいです。安物競争じゃなく、時間と労力とアイデアをかけている商品を、ちゃんとした対価で販売できるように。食品に対する消費者の価値観が変われば嬉しいな、と思います。



見つけた「彼女らしさ」

一緒に働く従業員の方々や、関わってくれている人たちの話をするときの杉岡さんは生き生きしていて、人をとても大切にされていることが伝わり印象的でした。名張の農業への想いと、さまざまな困難を経験してきたからこそ培われたしなやかさと志の高さ、誰も置いてけぼりにせず、ていねいに人と向き合う姿勢が杉岡さん「らしさ」だと感じました。

佐藤 逸美さん

DMG森精機株式会社
伊賀受注設計部

profile

1986年、埼玉で生まれ育つ。大学では機械工学を専攻。卒業後、森精機伊賀支社への就職を機に伊賀へ。現在名張在住。小学1年生、幼稚園年中、2歳児の3人の女の子の母。



様々な製造業の原点である
工作機器に魅せられて

お仕事のことを教えてください。

工作機械のお客仕様設計を担当しています。お客様が作りたいものによって、標準で用意している仕様では対応できない場合に「こんな仕様をつけたいなら実現できますよ」と提案・実現する、という形です。工作機械は、様々な分野で使われる金属、木材、プラスチックなどを削ることができる機械です。例えば車のギアとか、時計のネジや歯車などを加工できます。

お客仕様設計の機械を納品するまでには、

「どんな機械にしようか？」という構想があって、それを私たちが設計し、必要な部品が作られ、製品を組み立てて、問題がないか検査をした後に「納品しても良い」という許可が下りて、やっとお客様へ納品、という工程があります。私たちは提案の段階からお客様へ納めるまでの全工程に携わっています。

工作機械に興味を持つきっかけは何ですか？

小さい頃からドラえもんみたいな機械が作りたいくて(笑)。なので大学では機械工学を専攻しました。授業では色々な発見がありましたが、中でも「工作機械」が一番興味を持った、というところですね。1つの大きな金属のかたまりから、部品が生み出されるということが面白くて、好きです。

やりがいや成長を感じるのはどんな時ですか？

入社当初は機械がどういった動作をするのか全く分からなかったのが、今はこういう動作をするからこんな加工ができる、ということが分かるようになって、とても面白いと感じます。1つの機械に1人の設計担当者が付くことになっていて、1つの部品を変える仕様から、場合によっては何十点、何百点もの部品を変える複雑な仕様まであって、そんな複雑な機械の担当もできるようになり、続けてきてよかったと思います。

あとは機械が出荷できる時ですね。イヤッホー！ってなります(笑)。「このままではお客様に満足してもらえないから、もう一回設計し直して」ということもありつつの出荷だったら、特に嬉しいですね。

工作機械は「製造業の源流」と言われていて、1台あれば様々な加工ができます。医療業界や航空業界にも関わることができず、時計など小さいものも生み出すことができます。様々な製造業の原点にいられることは、社会の中で必要な位置にいられることだと思うので、魅力に感じています。



家庭と仕事の両立は大変ではありませんか？

夫や同僚の理解と助けがあるので、家庭と仕事の両立についてはそこまで負担に感じていません。子どもたちは保育園や学童で預かってもらえて、とても助かっています。育休から仕事復帰して2年くらいになるので、なんとなく、こんなペースでやっていけばいいのかな、ということが分かり始めてきました。

目標や、今後の夢などあったら教えてください

自分らしく毎日を生きることが、今の私のテーマです。私が仕事もプライベートも含め、日々の生活を楽しんでいる姿を見て、子どもや周囲の人が勇気づけられたり、世界が少しでも楽しく見えたなら嬉しいなと思います。元々、ごねごね考える性格で行動に移せなかったのですが、出産をきっかけに「今やれることは今やらない」と思うようになりました。というのも仕事に復帰した時、仕事が全然できなくて、同期と同じフィールドに立てていないことがモチベーションアップに繋がりました。

仕事においては、海外にも拠点があり、国外と関わる仕事をしているので、海外の技術も取り入れつつ、より良いものを作っていけたらいいな、と思っています。そのために英会話も今年から始めました。勉強は大変ですが、何とか達成したいです。

趣味は読書と登山
最近ピアノ/テラコー
アレンジャーも始めました！
休日は趣味を満喫
しています。

見つけた「彼女らしさ」

仕事でもプライベートでも様々なことに挑戦され、日々を楽しむ姿が素敵でした。仕事と家庭を両立させるには家族の理解と協力も必要ですが、なにより会社や働く人の意識、地域社会の理解と協力も不可欠なのだ、と佐藤さんのお話を聞いて思いました。仕事も家族も、自分の「やってみたい」も大切にする姿勢が、佐藤さん「らしさ」だと感じました。



名張市男女共同参画センターって どんなところ？

家庭や職場、学校、地域などのあらゆる場で、性別に関係なく個性と能力を発揮し、のびやかに輝ける男女共同参画社会の実現を推進するための重要な活動拠点として、2009年6月に開館しました。相談事業や情報の収集・発信、図書の出借、情報紙「名張市男女共同参画つうしん」の発行、交流や学習の手助けを行っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

どんなことをしているの？



男女が互いにその個性と能力を発揮し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の形成に向けて、男女平等意識の確立や男女の自立、女性のエンパワーメントなどを図るための活動を進めるための地域の拠点施設です。

情報紙の発行、情報の発信

男女共同参画センターとホームページにて、イベントや講座、助成金情報などの男女共同参画に関する情報を発信しています。また、情報紙「名張市男女共同参画つうしん」を発行し、男女共同参画に関する情報を市民のみなさんへお届けしています。隔月発行で、市役所や各市民センター、図書館、市立病院などの公共施設などでも配布しています。ホームページではバックナンバーもご覧になれます。

図書ライブラリー

図書や映像作品の出借を行っています。貸出期間は2週間、1度に5冊まで借りることができます。男女共同参画に関する専門の書籍のほか、絵本や小説、エッセイなどもあります。



調査・研究

文化活動

情報

相談

交流

啓発・学習

男らしく、女らしく、
ではなく、ありのまま
生き生きと暮らす
地域の拠点！



相談窓口のご案内

ひとりで苦しんでいませんか？ どんな小さなことでも結構です。困ったなと思ったら、ひとりで悩まず、一度、ご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

予約・問い合わせ ☎0595-63-5336 (月曜日休館、9:00~17:00)



女性のための相談

予約優先、電話相談、面談
※祝日はお休み
毎週 水曜日 9時~12時
金曜日 13時~16時

- 夫との関係がうまくいかない...
- 人間関係がうまくいかない
- 子育てのこと
- 自分自身の生き方のこと

男性のための相談

予約優先、電話相談、面談
毎月 第2木曜日 17時~19時

相談員の資格：シニア産業カウンセラー・キャリア
コンサルタントの資格を持つ男性相談員

- 誰かに話を聞いてほしい
- 家族や夫婦関係で悩んでいる
- 職場や地域での人間関係のこと
- 性のことで相談したい

女性弁護士による法律相談

要予約、面談のみ。1回30分
毎月 第1金曜日 10時~12時 13時~15時

法律に関する相談に応じます(女性対象)。
おひとり30分の相談時間ですので、事前に相談内
容をまとめておくことをお勧めします。

- 離婚したいけど条件が折り合わない
- 相続やお金の貸し借りについて知りたい
- 養育費や親権のことで相談したい
- セクハラを受けて困っている

メンタルヘルス相談

要予約、面談のみ
毎月 第3木曜日 10時~12時
第4火曜日 13時~16時

相談員の資格：シニア産業カウンセラー・キャリア
コンサルタントの資格を持つ男性相談員

- 仕事がうまくいわずに落ち込んでしまう
- 職場の人間関係に悩んでいる
- 悩みを相談できる人がいない
- ストレスが多くて心身が辛い

名張市男女共同参画センター

名張市希央台5-19 Navarie2階 名張市市民情報交流センター内
業務時間 ▶ 9:00~17:00 休館日 ▶ 月曜日・年末年始
TEL ▶ 0595-63-5336 FAX ▶ 0595-63-5326
Mail ▶ danjo-center@emachi-nabari.jp
HP ▶ <https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/>



メール



ホームページ